

## ぶどう「シャインマスカット」の販売期間延長に向けた取組

【平成 29 年 3 月 28 日掲載】

神石高原町の農事組合法人高原の里まき（代表理事 山内輝幸（やまうちてるゆき）、構成員 59 名）は、設立 10 年目となり、経営高度化のためにぶどう（ピオーネ、シャインマスカット）を 50a 栽培しています。シャインマスカットは高い糖度、歯切れの良い食感、皮ごと食べられることで全国的に評価が高まり、近年急激に出荷量が伸びている品種です。この品種は他の品種に比べて長期貯蔵に適しており、販路の拡大と高い販売単価を狙った試験を東部農業技術指導所が実施しました。

貯蔵試験は同法人で収穫されたシャインマスカットからサンプルを選び、昨年の 10 月 24 日に法人所有の冷蔵庫に保存しました。その後 12 月 14 日から今年の 1 月 16 日まで約 10 日間隔で 4 回に分けて出庫し、糖度・酸度等の分析による品質調査と同所職員を対象に食味調査を行いました。

その結果、12 月中に出庫したものは外観も良く、糖度や食味も良好でした。一方、1 月以降に出庫したものは糖度などに変化はないものの、肉質が軟らかくなり、皮が口の中に残って気になるという意見が目立ちました。また房がややゆるくなり、出荷の際に脱粒が予想されました。このことより、シャインマスカットは、「お歳暮から正月までの需要には対応できる品質である。」ことが分かりました。



【10 月 24 日 サンプルの準備】



【12 月 26 日 出庫サンプル】

情報提供元

東部農業技術指導所